

下深迫：資料1、中央とは国分、福山、隼人を含めているか？ 処分を受ける者が多い、中山間地域の捕獲をこなせるか？

川東：（意味不明な答弁であることから、発言を忠実に文字に起こしました。）

中央班は国分、隼人、福山で構成されている。

2点目の質問に私たちは非常に、あのーそこは、あのー危惧をいたしているところでございます。結局、あの今回お示した数字におきましては、色々バラツキがございます。ただ私どもは捜査機関ではございませんけど、可能な範囲で色々、聞き取りをしたり、データを突き合せたりしますと、必ずしもそのいわゆる水増しと、水増しと取るには逆に不自然な形に取れるものですから、その虚偽を写真を作り変えたという行為がですね。ですので恐らくやはり色々なそのケースがあろうかと、それについては峻別は私どもでは不可能だという風に判断をいたしております。ただ、先ほど言いましたように、お1人の方については、ま、その今、ちょっとそういった状況でございますので今後また、再度色々とお話をさせていただきたいと思いますが、そういった中で色々あの処分をするという事は、非常にあの本当に、その水増し、えっとここで、まー水増しと、あの虚偽という言葉をちょっと理解を、共通認識が必要だと思うのですが、私どもは、あくまで今回の結論に至りましたのは、写真の作り換え、偽造、そういった事は認められると。これはその方々については、29人、今それは、一応ここに至ったわけですが、その理由でありますとか経緯とか、言ったものについては、中々、お聞きした部分もありますし、聞けない部分もございます。ですので、そういった中で処分を行うと言う事は件数が多くても、例えば、あのー御高齢の方々が非常に多いわけでございます。その方々がデジタルカメラを持って色々撮影されたり、山は暗いですから、そういった中で一所懸命撮影をするとか、色々なケースを考えた場合、提出できないような写真は出てくるのだろうと容易に想定がつくわけです。100%恐らく完璧な写真は撮れていないだろうと。失礼ですけどそのように思っております。そのような者に対して、山に入って一所懸命やった、その対価と言いますか、それだけはやはり、対価は求めたいといったようなところで、そういったケースに至られた方々も相当数いらっしゃるという風に我々は思慮しているところでございます。ですのでそういった方々にこのような処分を今回、判断できないうちに処分を一応させていただくわけですので、是非そのようなところは猟友会、捕獲隊の方々、そしてまた処分を受けられる事実は本人しか御存じないわけですので、その方々にも十分に、市のその処分を御理解いただいて受けていただきたいと、そして、当然そのトータルした件数としますと、やはり相当な頭数に上るものですから議員御指摘のとおり、それがもし捕獲出来ないとなりますと非常に市の農林産運営としては痛みになると思っております。実際259名、捕獲隊の方がいらっしゃいますけど、この4年間で実績として捕獲された方は165名です。3分の2足らずの、3分の1強ですね。3分の1足らずの方々が捕獲をさせていただいて、後の方々は捕獲に至っていらっしゃらないものですから、そういった方々を考えますと非常に活動を良くしていただい方々に基本的な処分を下すという事に繋がってしまいますので、非常に危惧はいたしておりますが、そこは捕獲隊の中で今後も団結して連携を取って対応していただけるものと信じているところでございます。